

平成23年度科学・技術関係予算についての
第一線の若手研究者からの意見募集結果
(28002：中古住宅流通促進・ストック再生に向けた既存)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	0件
改善・見直しをした上で推進すべき	1件
推進すべきではない	0件
その他	0件
合計	1件

【主なご意見】

住宅の長寿命化には柱・梁などの構造材料に対する性能検証が不可避であり、内装などでこれらが覆われた状態において、三次元計測技術の適用には困難があると考えざるを得ません。三次元計測技術以外を視野に入れた計画にする必要があるのではないのでしょうか。本研究は、成熟したストックメンテナンス時代に向けて、経済的・環境的負荷低減のためにも、必要な技術と考えます。一方で、将来的な展開を考えると、構造体の検証方法（構造材料へのひずみセンサ設置など）を具備した住宅には補助金が支給される、と言った制度の整備も不可欠と考えます。そうした場合にも、内装のある状態で、必要なときに住宅の性能検証が出来る技術が必要で、それは必ずしも三次元計測技術に限らないと思います。